

飛 謩

平成7年8月
第14号



海 援 隊 旗

ボン・ボワイアージ (安全な航海を祈る)

高知県立坂本龍馬記念館

館長 小 棕 克 己

先日来館された建築関係の方が「良く手入れして、きれいに使っておられる。」と嬉しいことをおっしゃいました。「建物は完成した時が終わりではなく、それからが大変ですね。」

桂浜の岬の根元、長宗我部元親の浦戸城跡の丘の上に、太平洋に向かって飛び出すように建てられた坂本龍馬記念館は、昭和63年（1988）に行われた設計コンペの最優秀作（高橋晶子さん）を具体化したもので。思いっきったデザインが建設当時から話題を呼び、今までに数々の賞も受けています。

当初、維新の主役坂本龍馬の館として似合うのか、と疑問に思ったこともありました、

「船中八策」で為替レートの大切さを取り上げ、蝦夷に新天地を拓くことにより、若者のエ

ネルギーの活用を考え、世界の海援隊に夢を馳せるなど、龍馬のフレッシュな感覚からすれば、世紀を超えるタッチの建物が似つかわしいと言うべきなのでしょう。

ところで、平成3年11月14日、開館前日のシンポジウムで、設計コンペの審査委員長をつとめた建築家磯崎 新（アラタ）さんは「この建物は、船を一隻預かったと思って手入れしなければなりません。」とおっしゃいました。

海に面した高台で、常に波しうきを含んだ雨や風にさらされ、ガラスや金属部分も多いという条件は、まさにその通りです。

台風のあと潮風で真っ白になったガラス窓を高所作業車を使って拭く手間と費用、金属部分のさび止め、横なぐりの雨対策など、磯崎予言（？）にそって頑張っていますが、この台風期を前に、いよいよ扉の補強をすることにしました。出てきた案が「グレモン」という、船のハッチに似た構造のドアの採用。「船一隻」が更に現実となっていました。ボン・ボワイアージ！



夏の企画展

龍馬のイメージ539通

ぼくの龍馬・わたしの龍馬イメージ画展

夏の企画展「ぼくの龍馬・わたしの龍馬－坂本龍馬イメージ画展パートⅡ」には539点の作品がよせられました。



応募は北は仙台、南は沖縄とほぼ全国にまたがり、年令も5才から92才までと幅広く、龍馬がいかに多くの人々に愛され、人々の心の中に生き続けているかを証明しました。

「四月末に龍馬記念館を家族で訪ね感銘をうけました。そこでぼくの龍馬・わたしの龍馬の絵を家族5人で書きました。」と御家族のイメージ画を送っていただいた愛媛の方。前回に続いて美しいイメージ画を描かれ、福岡市からわざわざ当館まで持参して下さった女性ファンもありました。前回“そっくり賞”に入賞した愛知県豊橋市の方からは、「いただいた賞などすべ



て大事に保管しています。賞をきっかけに初めて憧れの龍馬の生まれた地高知、そして記念館に行くことができました。あの時の感動は忘れられません。」と龍馬に、そして高知に、記念館によせる熱い想いを込めて応募されました。

学校やクラスあげ

て取り組んでいただいた学校もありました。「クラスで真っ先に募集にとびつき、それから

しばらくはクラスが坂本龍馬一色に染ま



優秀 安田 純(9)
須崎市 多ノ郷小学校



優秀 高橋由衣(9)
須崎市 多ノ郷小学校

りました。子どもたちは、おうちでお父さんやお母さんに龍馬について聞いたり、坂本龍馬記念館を訪れたりして、龍馬への興味探究にそれぞれが行動に移したみたいです。作品がかえって来ないということで寂しそうな子どももいましたが、ひとりひとりが作品を手に持って記念撮影をし、充分満足そうでした。」とのコメントも添えられた高知県須崎市多ノ郷小学校の先



最優秀 池上友和(13)
高知市 愛宕中学校

生もおいきました。大学の卒業論文にも坂本龍馬を取り上げたという心強い先生でした。作品はすばらしく、優秀2点と入賞7点と多くの賞を獲得されました。

また南国市北陵中学校からは、「龍馬をイメージして2人1組でコンピューターで描いた」作



優秀 山本美佐子・柳瀬由加(中2)
南国市 北陵中学校

品がよせられました。コンピューターで描かれた龍馬のイメージ画には、審査員のはらたいらさんも、「これははじめて。すごい!!」と驚きの声しきりでした。

このほか浦戸小学校・鴨田小学校・安和小学校・大野見小学校・香長小学校・野老山小学校・三浦小学校・若草養護学校子鹿園分校・愛宕中学校・西部中学校・大津中学校・中村中学校等からもそれぞれ自分の龍馬を描いた個性的なイメージ画がとどきました。



優秀 森岡佑佳(11)
高知市 浦戸小学校

高等学校も漫画研究部を中心に多くの作品をいただきました。マンガ甲子園で活躍している学校も多く、栃木県鹿沼商工高校・埼玉県花

咲徳栄高校・九州産業大学附属九州高校・沖縄興南高校からも、また県内では、佐川高校や伊



優秀 安岡京子(16) 日高村岩目地

野商業高校の漫画研究部の皆さんも応募してくれました。また高校名はなくても、高校漫画研究部で活躍中の高校生たちが、さすが高校漫研と感心する数々の作品をよせてくれました。

審査にあたられたはらたいらさんも、並べられた全作品539点という応募数に圧倒され、立ちすくむ時もしばしばありました。それでも「どの作品も個性的ですばらしく、それぞれが好きな方法で自分の龍馬を描いている。少數の入賞者にしばらなければならないのは頭が痛かった。」と苦労のいった審査のあとを語られました。



「拙作ながら応募させていただきます。いまなお絶大な龍馬の人気を知りうれしいかぎりです。イメージ画展の成功と、記念館の安泰を心

よりお祈り申し上げます。」(大阪府堺市の方)
 「前回の画展には大学受験の年でしたので残念ながら高知を訪れることができませんでした。
 現在は短大2年生で就職活動中ですが、今年は何としても行きたいと思います。これからもこのようなすばらしい行事を行って下さい。心から応援しております。」(愛知県一宮市の方)と龍馬に、そして記念館に寄せてくださる暖い声援もありました。応援してくださる多くの人々の声にこたえるためにも、一層の充実を期さねばなりません。

およせいただいた全作品は当館の所蔵品として大切に保存させていただきます。

入賞された方は次の通りです。

田 端 建太郎	(14)	静岡県三島市加茂
ハシモトルイコ	(26)	千葉県旭市井戸野
中 塚 真弓	(18)	長野県下伊那郡高森町
都 築 加名子	(16)	栃木県鹿沼市坂田山
辻 佑 太	(10)	高知市浦戸 浦戸小学校
城 野 栄	(10)	高知市浦戸 浦戸小学校
城 野 栄	(10)	高知市浦戸 浦戸小学校
山 崎 久 司	(10)	高知市浦戸 浦戸小学校
前 田 菜々	(10)	高知市浦戸 浦戸小学校
松 村 麻由	(10)	高知市浦戸 浦戸小学校
松 村 麻由	(10)	高知市浦戸 浦戸小学校
岡 村 知佳	(10)	高知市浦戸 浦戸小学校
吉 松 香絵	(10)	高知市浦戸 浦戸小学校
森 岡 佑佳	(11)	高知市浦戸 浦戸小学校
山 本 彩湖	(10)	高知市浦戸 浦戸小学校
坂 本 直子	(15)	高岡郡日高村本郷
大 野 大介	(11)	高知市神田
鎌 田 弥央	(12)	高知市西秦泉寺
都 築 美保	(12)	高知市北本町1丁目
千 頭 史奈	(12)	高知市前里
野 中 佑美	(9)	須崎市 多ノ郷小学校
梅 原 康世	(9)	須崎市 多ノ郷小学校
矢 小 野 正博	(10)	須崎市 多ノ郷小学校
吉 浦 純代	(9)	須崎市 多ノ郷小学校
山 崎 賢	(10)	須崎市 多ノ郷小学校
横 山 つばさ	(9)	須崎市 多ノ郷小学校
山 拓 登	(10)	須崎市大間本町
大 館 美沙	(13)	高知市大津
浜 田 未来	(中2)	南国市岡豊町 北陵中学校
長 野 聖子	(中2)	南国市岡豊町 北陵中学校
高 橋 光展	(中2)	南国市岡豊町 北陵中学校
谷 和 紘	(中2)	南国市岡豊町 北陵中学校

土佐 維新の銅像たち

吹き荒ぶ潮風になぎ倒され剪み揃えられたようになった室戸岬の樹々、それを背に中岡慎太郎の銅像は立ちます。土佐藩を倒幕の方向へと



を握るその手には激怒と無念の気概満ちて、岩礁に散って碎ける岬の白波に自分を重ねて睨むかのようです。昭和10年3月安芸郡下の青年達が、7年間の努力の夢実らせて、この地に建立されました。

音をたて激しく動く経済界、時の流れを市中の雑踏に感じつつ、岩崎弥太郎の像は安芸市街地のど真ん中です。「故郷に帰り和服姿で海に向かって立つ弥



奔走し、龍馬とともに薩長同盟をめざして行動します。しかしその実現の熱冷めぬ慶応3年11月15日、京都近江屋で龍馬とともに刺客の刃に散っています。長刀

太郎をイメージし、時代の風をうけとめる大きさ、偉人の持つ雰囲気を」と昭和61年7月建立されました。気丈な顔つき、風にひろがる和服に包まれた頑丈な体躯にこそ、大三菱の礎が潜んで見えます。大きく上げる右腕と、開かれた指一本一本にも弥太郎のもつ実行力と、激しくもあり強固な意志が迫ってくるようでもあります。



お龍の妹君枝は、海援隊士菅野覚兵衛(千屋寅之助)の妻でした。

龍馬の死後お龍は一時君枝の住む芸西に身を寄せていたといいます。平成5年5月、「姉妹愛とともに龍馬と覚

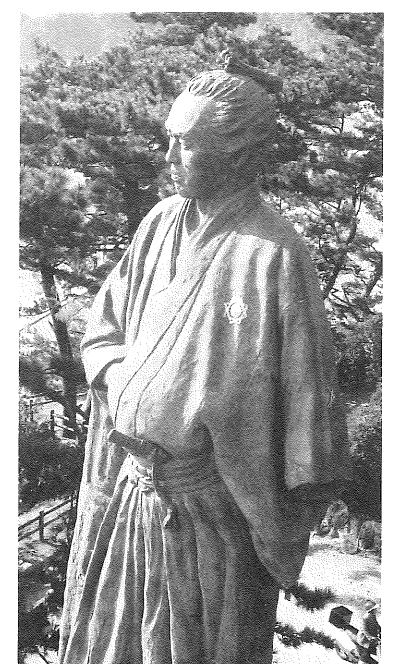


名勝桂浜を訪れる人は必ずこの像の前に立ちます。

兵衛を記念しようと芸西村琴ヶ浜に完成しました。微笑みを感じる優しく穏やかな顔ではるか桂浜の龍馬に手を振る姉に、妹は後ろからそっと手を添えて姉の心を気遣うようです。幕末の闘士の妻として生きた姉妹の顔を、夕風はそっとなげて通り、打ち寄せるさざ波は沈む夕陽の淡い光に赤く染められて、姉妹の足下に静かに寄せていました。

高知城の追手門をくぐると天守閣はすぐそこにそびえて見えます。目を落とすと緑の木々に囲まれた板垣退助の銅像が飛び込んでいます。大きく人々を圧するような立派なひげ、右手を前にして大衆によびかけるこの像は戦後再建されたものです。初代は第二次大戦出陣のまま帰

還しませんでした。若き日、「薩土密約」を結んで武力倒幕を進めようとする退助の動きには、龍馬も牽制したといいます。自由民権運動のリーダーとしての風格あふれ、後方の



の銘板の文字は、今もまぶしく鮮烈な輝きをもって人々の目に焼付きます。

霞ただよう入江三里、横浪スカイラインに武



市半平太の銅像はあります。「注文が多すぎて不本意な作」と作者も言った不評の像に代わって、昭和61年6月再建されたものです。円満で穏やかな顔、左手は軽く刀

に添え、右腕はゆったりと垂らした姿は静寂そのものです。その姿、なぜか周囲の風光にとけ込んで落ち着いた安堵感すらおぼえます。燃える尊皇攘夷の炎の先頭、「土佐勤王党」の党主としての統率力と激しい行動、そして厳しい弾圧、果ては投獄自刃という研ぎ澄まされた人生をおくりました。足下に刻まれた土佐勤王党血盟者と同志の人名が、太陽を激しく反射して光る光景が印象的でした。

清流四万十の源流をうたう東津野村、川面をつたって吹き上げてくる川風を全身に受けて吉村寅太郎の銅像はたっています。髪は流れ、袴の裾も



ひるがえります。巖頭烈風に立つこの像こそ、「天誅組」のリーダーとして、尊王攘夷の嵐の中に身を投じて散った風雲児にふさわしい銅像です。昭和43年12月、村人こぞって銅像建立に立ちあがったエネルギーこそ、志を遂げずに散った郷土の英雄によせる村人の心情発露といえるでしょう。

海に生れ、海に生き、海に学び、海を活動の舞台とした中浜万次郎。



左手にしっかりと握られた三角定規とコンパスに、彼の人生が象徴されているようでもあります。14才の時乗船した漁船は難破し、救われてアメリカにわたります。学を修め帰国後は近代日本初の国際人として、広い視野にたって日米交流の礎を築いていきます。椿咲く足摺の岬に寄せる荒波を楽として、己の生きた人生的軌跡を訥々と語りかけているようでもあります。岬を西にまわると中浜です。ここは彼の誕生の地、浜辺には今も彼を育てたさざ波が変りなくうち寄せています。



新しい資料紹介

書軸 五幅寄贈される

門脇幹雄氏（高知市）と出張勝治氏（大阪府）より書軸の寄贈を受けました。門脇氏よりは谷干城と細川潤次郎の書、出張氏よりは海舟、鉄舟、泥舟、いわゆる三舟の書です。

●谷干城 寄贈者 門脇幹雄氏(高知市)

谷秦山の子孫であり、小さい頃より文武を好み、江戸で学んだ。戊辰の役では藩兵を率いて参戦し、西南戦争では、熊本鎮台司令長官として熊本城を死守し、政府軍を勝利に導いた。

●細川潤次郎

寄贈者 門脇幹雄氏(高知市)
元・十州ともよばれ、和洋の学問のほか航海術を海軍操練所で、砲術を高島秋帆より学んだ。「海南政典」「海南律令」の制定に参画するなど藩政にも加わった。維新後は新政府の要職も歴任し、貴族院議長もつとめた。

●勝 海舟

寄贈者 出張勝治氏(大阪府)
鱗太郎ともよばれ、剣を島田見山に、蘭学を永井青崖に学んだ。私塾や海軍操練所では坂本龍馬をはじめ多くの人材を育て、維新時の西郷との江戸城無血明け渡しの一件は有名である。

●山岡鉄舟

寄贈者 出張勝治氏(大阪府)
高歩ともよばれ、剣術を好み千

葉周作の門に入り、のち無刀流を開いた。維新の時、西郷、勝を周旋して江戸城明け渡しの道を開いた。

●高橋泥舟

寄贈者 出張勝治氏(大阪府)

政晃ともよばれ、鉄舟の義兄である。槍術にすぐれ、講武所教授となる。鳥羽伏見の戦後は慶喜に恭順を説きつつ身辺の警護に終始した。



新人紹介

解説補助員 白石るみ

初めまして。5月15日「来館者50万人目達成」の日より勤めさせていただいております。

こちらでは、県外のお客さまの多さと、「龍馬の生まれ育った土佐の地・海を訪れることが念願でした」と、遠路おいで下さる皆様の熱い想いに接し、驚きとともに身体が宙に浮くほどうれしく、感動しています。私もこの同じ地に生きている自覚と誇りを持ち、龍馬も思いを馳せた広い海を望み仕事ができる幸せを感じつつ、「また来ます」と言っていただけるよう、笑顔でお客様に接していくたいと思います。また、龍馬やその周りの人々、時代背景も勉強しつつ、龍馬や皆様に近づき、そして、龍馬の生き方、託した思いを一人でも多くの方に知っていただけるよう、努力し頑張っていかなければと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

入館状況

平成7・7・21現在（開館以来1332日）

○総入館者数	518,734人
○最多入館 平成5・5・3	3,700人
○最少入館 " 6・9・29 (台風)	23人
○本年度最多入館 " 7・5・4	2,618人
○本年度最少入館 " 7・6・21	84人
○本年度1日平均入館者数	354人



拜啓 龍馬殿

● 私は、6月18日よりアメリカへ留学します。その前に再度龍馬さんに会いに来ました。アメリカへの目標は、ないけれど、その何かを見つけて旅立つつもりです。

龍馬も決して始めから脱藩の目的などなかったであろう。私もこれから世界で龍馬のような人生を送りたい。

また、おちついで一人でぶらりとります。それまでお元気で桂浜を守っていてください。

(5月30日 佐賀県 A・I 男性)

● 龍馬さん貴方に会いに丁度一年振りに桂浜に戻ってきました。

昨年の6月4日訪れた時、貴方に約束したように、今度一等航海士から船長になって貴方に会いにきました。

海の男として、貴方が海を愛で、世界の果てに飛翔して行った如く、私もまた貴方にあやかって海の行く手に待っている幾多の困難に立ち向かって行こうと思います。昨年同様明日高知にて生涯教育の試験を受けます。

土佐の海は今大時化ですが、頑張ろうと思います。

後略

(6月3日 山口県 I・Y 男性)

● 平成の世…

これがあなた様の目指した時代なのでしょうか。平和というよりむしろ、ぬるま湯につかりきった毎日

私達が進むべき道は、本当にこれでよいのでしょうか？あなた様までとはいかないにしても私達が、今を動かしている実感があまりにもなく。そんな毎日が、ただ過ぎて行きます。

少し、淋しい気がします。

何かをしなくては…。

(6月12日 福島県 O・A 女性)

● 中学校の頃に、小説『龍馬が行く』を読んでからやっとの思いで生誕の地に来ることができました。

夢にまで見た桂浜の景色や、龍馬と同じ空気を吸っている自分に感動しています。

大変申し訳ありませんが、勝手に貴方の名前を使用しておることを、あやまりにやってきました。偽名を使っていましたね、才谷梅太郎という名を。

私は、音楽をやっています。ステージネームに梅太郎と付けて頑張っています。今ではニックネームになり“梅ちゃん”と呼ばれています。又、何かあれば桂浜にやって来ますので、その時はよろしく。

(6月26日 千葉県 S・K 女性)

● オウム サリン 乗っ取りと不安ばかり多い今の世の中 もしあなた様が御健在ならばどのような対処をなさいますでしょうか。

あなたのような方がもう一度現れて今の日本をもう一度見直していただけたらとつくづく感じました。

此の記念館でお会いしました感動は、私の中にいつまでも残ることと存じます。 後略

(6月29日 愛媛県 W・M 女性)

館だより “飛 謐” 第14号

平成7年(1995)8月1日発行

発行所 高知県立坂本龍馬記念館

〒781-02 高知市浦戸城山830

T E L (0888) 41-0001

F A X (0888) 41-0015